

資料1-3

科学技術・学術審議会
人材委員会(第92回)
令和3年10月21日

ジョブ型研究インターンシップについて



令和3年10月21日
高等教育局専門教育課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

「ジョブ型研究インターンシップ」（先行的・試行的取組）の実施に向けた背景等

1. 背景

- ◆ 「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」（令和2年1月「総合科学技術・イノベーション会議」）【抜粋】
＜目 標＞ 博士人材の多様なキャリアパスを構築
＜主な取組み＞ 博士課程学生の長期有給インターンシップの単位化・選択必修化の促進（令和3年度～）
企業との連携による長期有給インターンシップの推進（令和3年度～）
- ◆ 「Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方」（令和2年3月「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」報告書）【抜粋】
産学協議会10のアクションプラン
＜Society5.0の採用とインターンシップの実現に向けて＞
【大学・企業】
4. 多様で複線的なインターンシップの目的、意義、内容、期間等について、産学及び社会的な共通認識を改めて確立する。
その上で、新たな理解に基づくインターンシップを積極的に推進する。また、そのための仲介機能の強化を検討する。
 - ・ 大学院生（修士・博士）を対象とした新たなジョブ型採用につながるインターンシップの試行を推進する。

2. 経緯

- ◆ 令和2年9月：「ジョブ型研究インターンシップ推進委員会」を文部科学省と一般社団法人日本経済団体連合会が共同で設置

ジョブ型研究インターンシップ推進委員会 委員（敬称略・五十音順）		中畑 英信	株式会社日立製作所 代表執行役執行役専務 コーポレートコミュニケーション・オーディット責任者 兼 CHRO 兼 人財統括本部長 兼 安全衛生マネジメント推進本部長
（委員長）橋本 和仁	内閣府・総合科学技術イノベーション会議 議員 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長		
大久保 達也	国立大学法人東京大学 理事・副学長		
笠原 博徳	早稲田大学 副総長	早川 茂	（一社）日本経済団体連合会 審議委員会副議長 トヨタ自動車株式会社 代表取締役副会長
川端 和重	国立大学法人新潟大学 理事・副学長	古田 弘信	第一三共株式会社 常務執行役員・総務本部長
		益 一哉	国立大学法人東京工業大学 学長

- ◆ 令和3年5月：上記委員会の議論を踏まえ、「ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）実施方針（ガイドライン）」を公表
・目的：ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）に参画する学生、企業、大学及び事務局（マッチング支援機関）の取組に関し、共通理解を図る
- ◆ 令和3年6月：大学、学生、企業のマッチング・調整・支援・連携を実施する「マッチング支援機関（事務局）」を決定
- ◆ 令和3年7月：ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）を実施する企業・大学からなる協議体（コンソーシアム）への参画照会

ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）実施方針（ガイドライン）概要

1. 目的

- ◆ 大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、これらのことを文化として社会に定着させる。もって、Society 5.0に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを図る。
 - ・優秀な大学院学生が、安心して博士課程への進学を選択できる環境にあること
 - ・今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、産業界と大学が連携して大学院教育を行い、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成すること
 - ・学業に支障をきたすことなく、学生の成長にとって有意義なインターンシップが行われ、学修成果を活用した採用活動が行われること

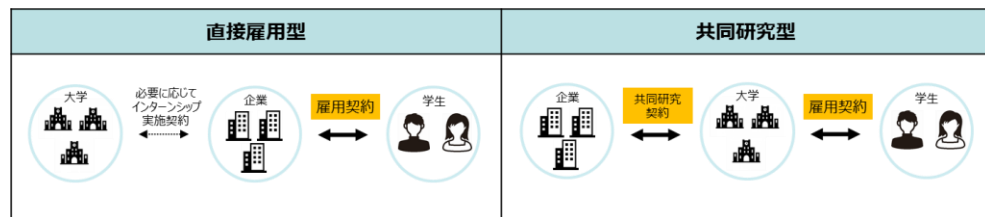
2. ジョブ型研究インターンシップの定義

- ◆ 研究遂行の基礎的な素養・能力を持った大学院学生が対象*
 - ◆ 長期間（2ヶ月以上）かつ有給の研究インターンシップ
 - ◆ 正規の教育課程の単位科目として実施
 - ◆ 本ガイドラインに沿ったジョブディスクリプション（業務内容、必要とされる知識・能力等）を提示
 - ◆ インターンシップ終了後、学生に対し面談評価を行い、評価書・評価証明書を発行
 - ◆ インターンシップの成果は、企業が適切に評価し、採用選考活動に反映することが可能
- * 当面の間、博士課程学生であって、学生の専攻分野は自然科学系を対象とし、修士課程学生については、引き続き検討

3. ジョブ型研究インターンシップの推進体制

- ◆ ジョブ型研究インターンシップ協議会
 - ・文科省・（一社）日本経済団体連合会が共同で設置
 - ・「ジョブ型研究インターンシップ」を推進するための「施策」について検討、評価及び助言する組織
- ◆ ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
 - 「先行的・試行的取組」を推進する大学、企業等からなる協議体
- ◆ 運営委員会 運営協議会の意思決定機関
- ◆ 事務局（マッチング支援機関） 運営協議会の事務局

4. ジョブ型研究インターンシップの類型（契約形態・ジョブ内容）



テーマ探索型	テーマ付与型	研究開発支援型
<ul style="list-style-type: none"> ・企業・大学からはインターンシップ募集時に学生に研究開発テーマを具体的に提示せず、学生が新しい研究開発テーマ*を提案・探索 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・大学がインターンシップ募集時に学生に研究開発テーマ*を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・大学はインターンシップ募集時に学生に特定の研究開発支援業務*を提示

* 研究開発テーマ、研究開発支援業務の内容については、開発関連業務などを含め学生の研究経験が生かせる業務を柔軟に付与

5. 推進協議会への参画要件

- ◆ 企業：ジョブディスクリプション（募集人員1名以上）を本協議会（事務局（マッチング支援機関））を通じて提示しインターンシップの募集を行い、インターンシップ後の学生の評価を行うこと 等
- ◆ 大学：本インターンシップに参加する部局が存在している 等

6. 募集・マッチング・インターンシップ決定関係

- ◆ 前期・後期の2回実施
- ◆ ジョブディスクリプションと学生情報をシステムに登録
- ◆ 登録情報を用いてデジタル技術活用でマッチングを支援
- ◆ 選考プロセスを経て決定

7. インターンシップ後の評価

- ◆ 能力評価・業績評価を実施
- ◆ 評価を企業による採用選考活動に利用可能
- ◆ 評価証明書を用いて学生の就職活動にも利用可能

○ 普及啓発・連携促進

・特定の大学・企業間のみで本インターンシップと同趣旨の活動を行うなど、本協議会に参画することなく行われる同趣旨のインターンシップについて連携認定

○ 目標設定

・社会人学生でない理工農学生の長期・有給インターンシップ経験割合
30~40%・年730~980人程度（2030年度） 5~10%・年120~240人程度（2023年度）

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会の概要

1. 目的

- ◆ 大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、Society 5.0に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを図る

2. 協議会会員に求めるジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）の概要

- ◆ 今後拡大が見込まれる「ジョブ型採用」を見据え、大学院教育の一環として行われる研究インターンシップ
 - ◆ 産学の共通認識を確立するため、先行的・試行的取組から実施
 - ◆ **ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）の要件**
 - ① 研究遂行の基礎的な素養・能力を持った**大学院学生**が対象*
 - ② **長期間（2ヶ月以上）かつ有給**
 - ③ **正規の教育課程**の単位科目として実施
 - ④ 企業は研究インターンシップの**ジョブディスクリプション**（業務内容、必要とされる知識・能力等）を提示
 - ⑤ インターンシップ終了後、学生に対し**面談評価**を行い、**評価書・評価証明書**を発行
 - ⑥ インターンシップの成果は、企業が適切に評価し、**採用選考活動に反映することが可能**
- *当面の間、博士課程学生であって、自然科学系を対象
ただし、2021年度後期シーズン（トライアル）の実施については、②の「長期間」（2カ月以上）、③については、可能な限りで対応

（参考）ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）の特徴

- ◆ **長期・有給・ジョブ型** : 学生向けに特別な短期プログラムを提供するのではなく、**ジョブディスクリプション**を提示し、**リアルなジョブを長期・有給**で実施
- ◆ **正規の教育課程** : **正規課程**に位置づけ、産業界と大学が連携して大学院教育を行い、研究力に裏打ちされた実践力を養成
- ◆ **採用・就職への活用** : **能力評価・実績評価**を行い、インターンシップの成果を**採用・就職に活用可能**であるという共通認識を大学・企業・学生が持ち実施

3. ジョブ型インターンシップ推進協議会の体制

運営委員会

- ◆ **ジョブ型研究インターンシップ推進協議会の意思決定機関**
- ◆ **企業：45社、大学：45大学によって構成**
- ◆ 議長：幹事
- ◆ 委員会の審議事項
 - ・ インターンシップのマッチングに関する支援
 - ・ インターンシップの実施及び実施後の手続きに関する支援
 - ・ インターンシップに関する情報の収集及び共有
 - ・ インターンシップの実績に関する広報及び普及
 - ・ 学生の進路に関する調査及び支援
 - ・ その他本会の目的を達成するために必要な事業 等

役員

- ◆ 会員の中から、幹事1名、副幹事1名を置く
- ◆ 幹事：東京工業大学、副幹事：株式会社日立製作所
- ◆ 任期：2021年12月まで

ワーキンググループ

- ◆ 必要に応じ設置
- ◆ 運営委員会から委任された事項について審議
- ◆ ワーキンググループの議長及び構成員は、運営委員会において、会員の中から選任

事務局（株式会社アカリク）

- ◆ **大学、学生、企業のマッチング・調整・支援・連携を実施**
- ◆ 運営協議会の事務局

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会会員一覧

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会会員【企業:45社】 (令和3年8月10日現在)

企業名	企業名
旭化成株式会社	第一三共株式会社
株式会社エア・リキード・ラボラトリーズ	株式会社ダイセル
株式会社EduLab	武田薬品工業株式会社
エリクソン・ジャパン株式会社	株式会社ちとせ研究所
沖電気工業株式会社	中外製薬株式会社
花王株式会社	東亜合成株式会社
川研ファインケミカル株式会社	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
キヤノン株式会社	東レ株式会社
京セラ株式会社	トヨタ自動車株式会社
キリンホールディングス株式会社	日本電信電話株式会社
KHネオケム株式会社	日本ガイシ株式会社
コニカミノルタ株式会社	パナソニック株式会社
JX金属株式会社	株式会社日立製作所
塩野義製薬株式会社	富士通株式会社
株式会社島津製作所	株式会社ブリヂストン
シャープ株式会社	三井化学株式会社
昭和電工株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
昭和電線ホールディングス株式会社	三井不動産株式会社
住友化学株式会社	三菱ケミカル株式会社
住友ベークライト株式会社	三菱電機株式会社
セントラル硝子株式会社	三菱マテリアル株式会社
ソフトバンク株式会社	株式会社みずほフィナンシャルグループ
第一生命保険株式会社	

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会会員一覧

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会会員【大学:45社】
(令和3年8月10日現在)

大学名	大学名
北海道大学	広島大学
東北大学	徳島大学
宇都宮大学	高知大学
埼玉大学	九州大学
山梨大学	九州工業大学
信州大学	佐賀大学
新潟大学	熊本大学
筑波大学	大分大学
お茶の水女子大学	鹿児島大学
電気通信大学	大阪府立大学
東京大学	広島市立大学
東京工業大学	東京電機大学
富山大学	東京都市大学
金沢大学	明治大学
名古屋大学	早稲田大学
京都大学	創価大学
京都工芸繊維大学	中京大学
大阪大学	立命館大学
神戸大学	関西学院大学
和歌山大学	神戸薬科大学
奈良先端科学技術大学院大学	福岡工業大学
鳥取大学	沖縄科学技術大学院大学
岡山大学	

事務局(マッチング支援機関)の概要

株式会社アカリクについて

設立 2006年11月

代表 山田 諒

事業内容:

- ・大学院生、ポスドクのための**就職情報サイト「アカリク」**
- ・大学院生、ポスドク、院卒社会人、研究者に特化した**人材紹介サービス**
- ・企業・研究機関・キャリアセンター向けの**採用コンサルティング**
- ・日本語などのマルチバイト言語に初めて対応した**LaTeXオンラインコンパイルサービス「Cloud LaTeX」**など



株式会社アカリクの博士課程学生への支援内容や実績

株式会社アカリクは、**大学院生・ポスドク・研究者を対象としたマッチング事業を約15年間継続して運営**。大学開催の就職ガイダンス、小規模マッチングイベントから最大1000名規模の合同企業セミナー、ウェブ上のマッチングシステムの自社開発・運営と幅広い実績のある企業

【具体的な博士後期課程学生へのキャリア支援について】

- ・年間 **2000名近く**の博士後期課程学生、ポスドクのキャリア相談面談を実施
- ・有名企業～ベンチャー企業の**博士人材採用イベント**を企画運営

- ・博士課程限定のキャリアイベントを年6回開催し、**計400名以上の博士課程学生が参加**
- ・現在活躍中の著名なデータサイエンティストに対して、**民間企業へ就職時のマッチング支援**を数多く担当した経験

事務局としての支援内容

- ①大学、学生、企業それぞれを総合的にサポート
運用マニュアルの提供、専用の相談窓口を設置する他にも、
【大学向け】必要な様式の提供、学生向け説明会運営
【学生向け】インターン応募への助言、労働条件の交渉相談
【企業向け】業務内容・ジョブディスクリプション作成相談

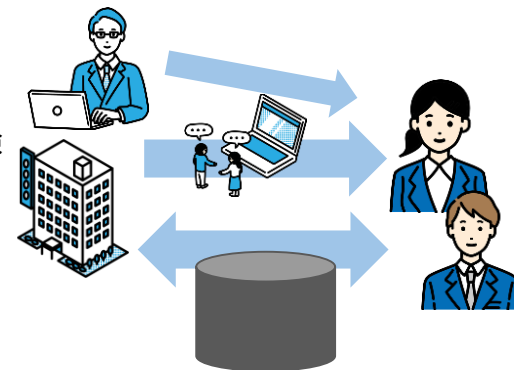
などの各種サポートを提供



- ②専用マッチングプラットフォームの開発・運営
ジョブ型研究インターンシップ専用のシステムを提供

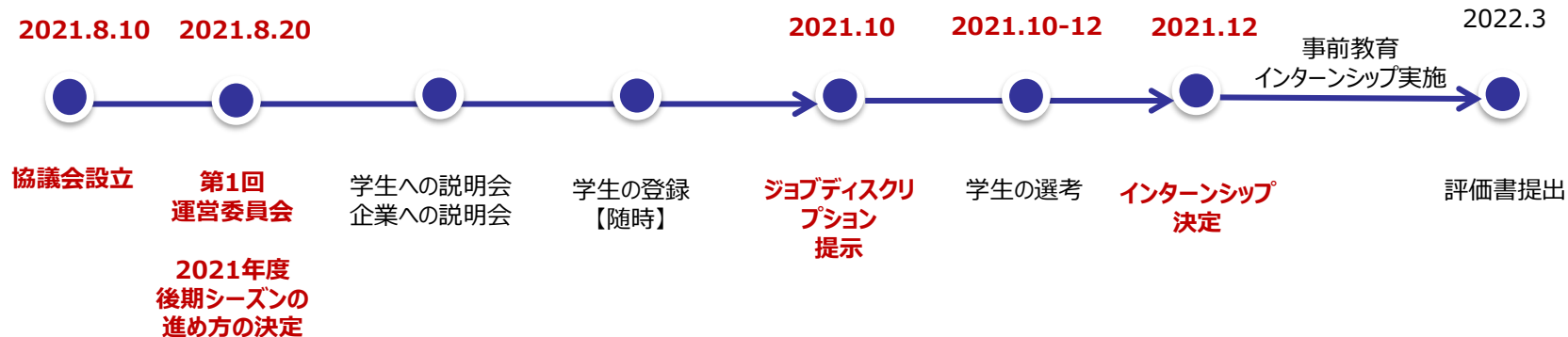
- ・エージェントからの助言
- ・企業からのスカウト
- ・専門キーワードと経験から得た能力の両方でのレコメンド

などの**他要素でのマッチング支援を実現**

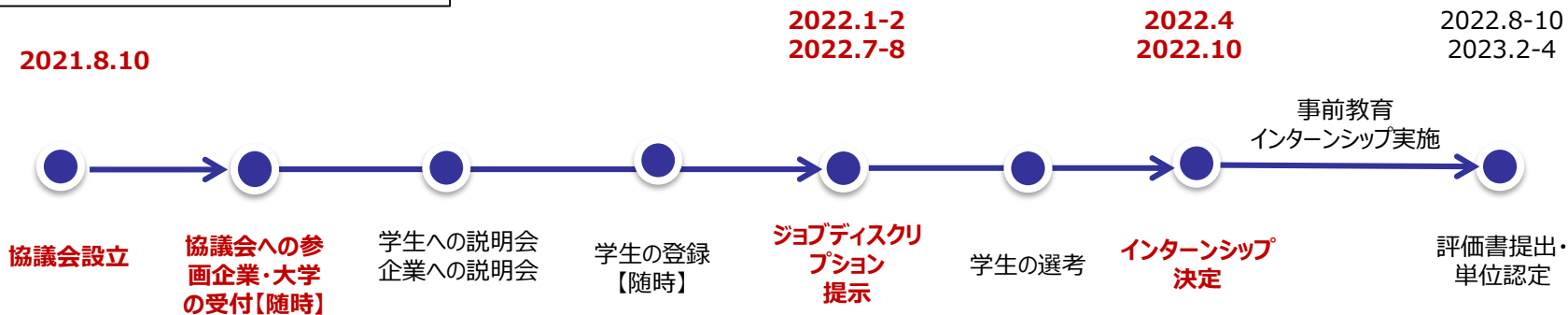


ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）当面のスケジュール（予定）

2021年度後期シーズン（トライアル）



2022年度前期・後期シーズン



マッチング促進の取組

- 事務局**
- ・応募先について学生への助言
 - ・学生応募オファー提示対象について企業への助言
 - ・助言に当たりエージェント（人）とデジタル技術活用
- 企業**
- ・ジョブディスクリプション作成による欲しい人材の見える化
 - ・学生への応募オファー提示